

多点光ファイバ通話装置 ODET-TALK FT9000

取扱説明書

C版

1. 付属品の確認

付属品が足りなかったり、購入したものと異なったりした場合には、ご連絡下さい。

多点光ファイバ通話装置 ODET-TALK FT9000 構成品一覧表

	型 式	品 名		数 量
標準構成	FT9000	FT9000 本体		1台
	FT9010	有線ヘッドセット		1個
	FT9020	単2乾電池		4個
	FT9030	本体用ACアダプタ (5V)	ACアダプタ	1個
			付属ケーブル	1本
	FT9040	シリコンパッド		2個
	- - - -	取扱説明書		1部
オプション	FT9050	ショルダーバッグ		1個
	FT9060	ワイヤレスヘッドセット	ヘッドセット本体	1個
			充電用ACアダプタ	1個
			付属ケーブル	1本
			取扱説明書	1部

2. 安全に関するご注意



危険

本体、付属品および電池を分解しないでください。
ACアダプタ使用時はAC100V～240Vの商用電源以外では絶対に使用しないでください。
光コネクタ・UP/DOWNのレーザ光源を直接見ないでください。
本装置はクラス1レーザ品、可視光ではないので見えません。
電池を挿入する際には、電池の極性(+,-)の逆挿しは絶対に避けてください。
電池単体もしくは本体に電池を挿入したままで高温になる場所に放置しないでください。
電池を電子レンジやオープン等で加熱したり、火の中へ投げ込んだりしないでください。



警告

本体の「DC IN」と「DC OUT」は絶対に接続しないで下さい。装置が故障します。
発熱、異臭、破損等の異常が生じた場合は、すぐに電源を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。電池で使用している場合には電池を抜いてください。
本体、付属品の内部に水、海水が入らないようご注意ください。
水滴が落ちるような湿度の高い場所での使用、保管を避けてください。
装置の光ファイバ接続部は未使用時は必ずキャップをするようにしてください。
使用時も含めて、ごみ、水滴などの汚れが付着しないようご注意ください。
光ファイバSCコネクタの端面は適切な方法で清掃し、常にきれいな状態に保ってください。



注意

長期に使用しない場合はACアダプタおよび電池を抜いて保管してください。
本装置を廃棄する場合は法令に従って処理してください。電池については法令に従い回収処理に回してください。

3. 主な仕様

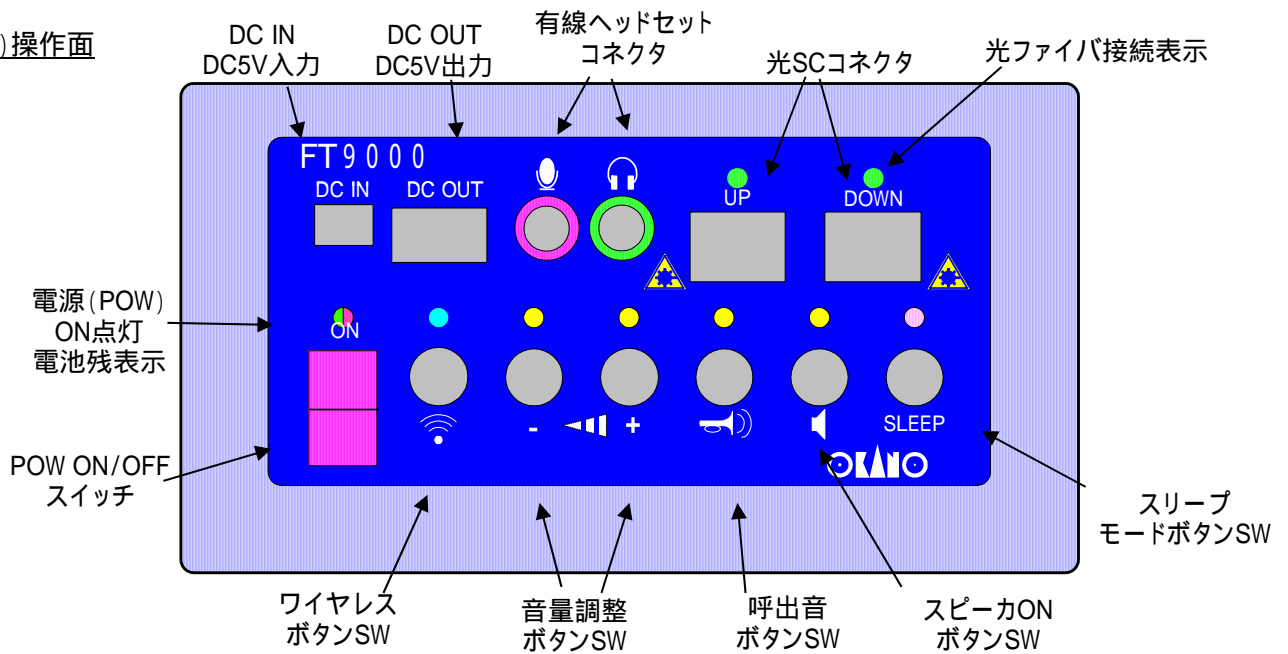
項 目		内 容
1	光ファイバ通信方式	1550nm / 1310nm波長多重方式
2	通話方式	多点接続通話、全数同時通話
3	接続距離	装置間 最大約40km
4	接続台数	最大50台
5	音声入出力	有線ヘッドセット ワイヤレスヘッドセット 本体スピーカ
6	電 源	AC100～240V / DC5V or 単2乾電池4個
7	電池持続時間	常温時、新品アルカリ電池 : 約8時間、スリープモード時約24時間
8	本体外形寸法	幅126×高さ110×奥行66mm(シリコンパッド、突起物を除く)
9	質量	本体(シリコンパッドを含む) : 600g(電池を除く)、850g(電池を含む)
10	使用環境	温度 -10 ~ 40 湿度90%以下(結露なきこと)

4. 各部名称

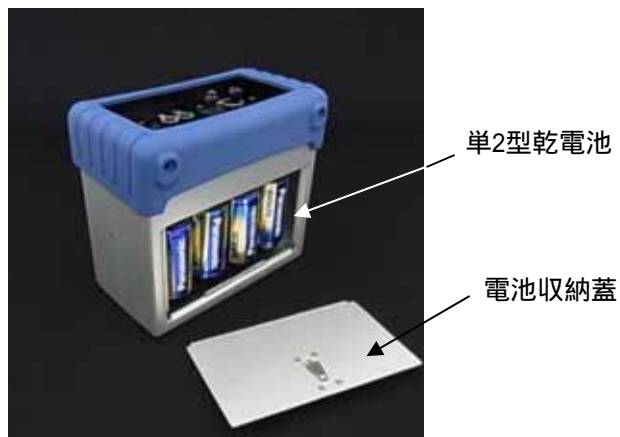
(1) 装置、付属品(含オプション品)



(2) 操作面



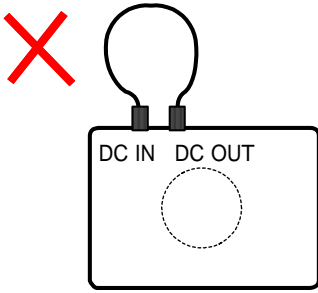
(3) 側面(電池収納)



5. 接続方法

(1) 電源の接続 : 付属のACアダプタを「DC IN」コネクタに差し込んでください。

電池の切替 : ACアダプタを引き抜いた時や停電等によりACアダプタからの電源がOFFした場合は、自動的に電池に切り替わります。



- 警告** 「DC IN」と「DC OUT」は絶対に接続しないで下さい。装置が故障する場合があります。
- 注意** 単2電池 4個を正しい極性に挿入してください。電池は、「アルカリ乾電池」、「ニッケル水素(Ni-MH)充電電池」をお使いください。

(2) 有線ヘッドセットの接続 : 付属ヘッドセットの“ピンク色”マイク入力プラグを「」ジャック、“緑色”PHONE出力プラグを「」ジャックにしっかり挿入してください。

- 注意** 逆挿ししないようにしてください。プラグの抜き差しは、プラグをしっかり摘んで軸に沿ってまっすぐに行ってください。

(3) 光ファイバの接続

「UP」または「DOWN」のSCコネクタに接続します。

自装置と相手装置を接続する際は、必ず「UP」と「DOWN」になるように接続してください。

相手装置と正しく接続され、双方装置の電源がONされると、LED(緑)が点灯します。

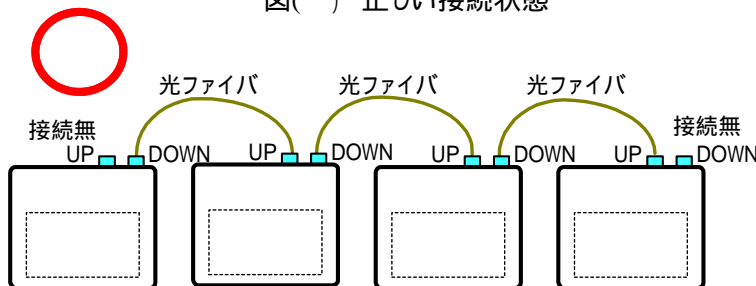
図()の様に最端部の装置は片方のコネクタが未接続となります。

図()の様に端部の片方にコネクタを接続して、反対端部に戻さないで下さい。ハウリング現象が起きて通話できません。

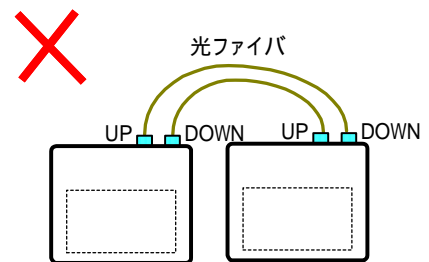
- 注意** SCコネクタの溝を確認し“カチッ”と音がするまで確実に挿入してください。

接続状態

図() 正しい接続状態



図() 間違った接続状態例



- 注意** 各装置間の接続は、必ず「SCコネクタ」の付いた「シングルモード(SM)ファイバ」をご使用ください。SMファイバ以外のファイバを使用した場合、通話距離などの性能が保証されません。SCコネクタの端面は、適切な方法で清掃し、常にきれいな状態に保ってください。現場組立て型のSCコネクタの中にはファイバ芯線が突出するタイプも有ります。この場合は本体側端面保護のため直接本体に接続せず、中継にパッチコードを使用してください。

6. 基本操作


(1) 電源の投入 : POWスイッチをON側に押し下さい。電源表示LEDが点灯します。


電池動作時は、残量によってLEDが緑、橙、赤点灯となります。電池が新品に近いと緑色、中間は橙、残量が少ないと赤色点灯します。赤の場合は新しい電池と交換してください。


電池の使用可能時間は、環境温度や電池メーカーで異なりますが、付属アルカリ電池の新品、常温で最大8時間程度です。電池表示が赤色点灯しても、しばらく使用できますが、通話品質などの性能が落ちます。

(2) 受信音量調整 : 本体側の音量調整ボタンスイッチと有線ヘッドセット、ワイヤレスヘッドセットにあるダイヤルまたはボタンスイッチの両方で調整できます。本体側の音量調整は「 - ◀▶ + 」ボタンスイッチで調整してください。本体の「 - 」 「 + 」は8段階です。最大 / 最小になるとLEDが黄色点灯します。点灯後「 - 」 「 + 」を押すと限界通知の「ピッ」音が聞こえます。

音量が大き過ぎると音声が割れて、聞き取れない場合が有りますので音量を適量に絞ってお使いください。有線ヘッドセットとワイヤレスヘッドセットを同時使用すると音声の干渉のため通話がしにくいことがあります。

(3) スピーカ出力 : 「  」ONするとLEDが黄色点灯し、受信音声はスピーカからも出力されます。音量は「 - ◀▶ + 」スイッチで調整できます。

「  」をONした時、スピーカ出力音声がヘッドセットマイクに入力され“ハウリング”を誘発する場合がありますので、受信音量を絞るか、スピーカからヘッドセットを離してください。

(4) 呼出音 : 「  」をONすると相手装置に“呼出音”が出力されます。

(5) 電池の交換 : 本体側面の電池収納ふたをあげ、電池の極性(+、 -)に注意して挿入してください。



注意

電池種類の混用、極性(+、 -)の逆挿しは絶対に避けてください。

7. スリープモード

(1) 機能・目的

緊急災害時など長時間待ち受け状態の時、送受信機能を停止し、間欠的に受信機能のみ立ち上げ、相手からの呼出を待ちます。このようにして消費電力を抑え、電池の寿命を長くするようにしています。



注意


スリープモードのご利用は、本装置の接続を1対1の接続でお使い下さい。

複数台接続時、中間の装置をスリープモードにした場合は、中継機能を維持するため、電池寿命は、24時間より短くなります。

(2) 操作方法

「SLEEP」をONするとLEDが赤色点灯し、スリープモードになります。

スリープモード中は不要な電源を落とし通話を中断します。約10秒毎に短時間(0.5秒)電源復帰(Wake Up)し、受信可能状況になります。

通常モードの相手装置が「  」を長押し(最大約10秒)すると、スリープモード中の自装置が受信状態になった瞬間に呼出(ピー)音がスピーカから聞こえます。

通話を再開するには、再度「SLEEP」を押して下さい。スリープモードは解除され、通常モードになります。

呼出音が聞こえても、応答を無視して「SLEEP」状態のままですと、そのまま節電モードが続行されます。



注意

スリープモード中、約10秒毎のWake Up制御の為、ある程度電力を消耗します。電池の寿命は24時間程度です。スリープ(節電)モードにおいても、電池の消耗にご注意下さい。

8. ワイヤレス 操作

(1) スイッチ・ボタン名称



(2) ワイヤレスヘッドセット充電

ワイヤレスヘッドセットの充電は、付属のUSBケーブルを充電コネクタにセットします。

ケーブルを付属のACADPまたは本体のUSBコネクタ「DC OUT」に接続して充電できます。

ACアダプタ接続時のみ、「DC OUT」に5Vが出力されます。

ヘッドセットの連続通話時間は6時間程度です。

警告 本体のDC OUTは、付属の「ワイヤレスヘッドセット」の充電以外には使用しないで下さい。

(3) ペアリング

注意 ペアリングする際、電波の届く範囲内に他の電源ON状態の「ワイヤレス」機器が存在しますとペアリングが成立しないことがあります。

ペアリング操作は、初回のみで、通常は再設定する必要はありません。

ペアリングする機器同士を20cm程度以内に近づけます。

本体のペアリング操作 : 装置電源ON後、「無線」ボタンを約8秒押し続けると青色LEDが速い点滅状態になりペアリングモードになります。装置側のペアリングモードは3分間継続します。

ワイヤレスヘッドセットの操作 : 電源ON後、「ペアリングを行います」の音声聞こえるまで「ペアリング(コール)ボタン」を押し続けて下さい。LEDが赤と青の点滅をし、本体とのペアリングを行います。

ペアリングが正常に完了すると赤と青の点滅が消え、「ペアリングが成功しました」「携帯電話1が接続されました」が聞こえます。

本装置に使用するワイヤレスヘッドセット「PLANTRONICS社: VOYAGER LEGEND」は主に携帯電話用に使用されるため、本装置を“携帯電話1”として応答音声を作られています。

うまくペアリングが成功しない時は、一旦双方の電源をOFFにして、再度同じことを行って下さい。

ヘッドセットの初回電源投入時、自動的にペアリングが開始される場合もありますが、本体の準備と合わせて、ペアリング操作をおすすめします。

(4)ペアリング後の通話

本体ワイヤレス電源ON : 本体「POW」ON後、本体の「」を青色LEDが点灯するまで約2秒程度押し続けてください。本体のワイヤレス電源がONし、約2～3秒毎の点滅表示をします。

本体ワイヤレスボタン「」を長く押しすぎると、ペアリングモードになります。青色LED点灯後、素早くボタンを離して下さい。

次にワイヤレスヘッドセットの電源をONしてください。

ヘッドセットの電源をONにすると、「状態表示青LED」が点灯し、『電源オン、連続通話時間“～時間”……』の音声が聞こえます。“～時間”は電池残量時間を示します。

しばらくすると、接続成立し『携帯電話1が接続されました』が聞こえ、通話することが出来ます。

ワイヤレスヘッドセット電源OFFすると赤LED点灯し、『電源オフ』の音声が聞こえます。

先に本体の電源OFFすると、約10秒後『携帯電話1が切断されました』が聞こえます。再度本体のワイヤレス電源ONすると、約10～15秒後に、『携帯電話1が接続されました』が聞こえ、接続されます。

本体のワイヤレス電源OFFのまま、ワイヤレスヘッドセットの電源をONすると『電源オン、接続される携帯電話が有りません』が聞こえます。

本体の電源がOFFすると本体ワイヤレスの電源も連動してOFFします。本体電源を再度ONした場合は、本体ワイヤレスの電源ONを改めて行う必要があります。

本体電源ON中にACアダプタと電池動作に切り替える操作などした際に、本体電源が瞬断したような場合にも、本体ワイヤレスの電源がOFFする事があります。この場合は再度本体ワイヤレスの電源をONしてください。

ヘッドセット「PLANTRONICS社:VOYAGER LEGEND」専用の「取扱説明書」が添付されますので、参照して下さい。

9. FT8000との通話

本装置はFT8000との通話が可能です。FT8000のチャンネルは「ALL」でお使いください。

お問い合わせ先

製造・販売元 岡野電線株式会社

〒242-8501 神奈川県大和市深見西1丁目5番28号

窓口 : 情報通信営業部

TEL 046-261-3121 FAX 046-261-3115

技術的なお問い合わせは

担当 : 技術部

TEL 046-261-2154 FAX 046-260-2952